

- ・国計画では、全体目標は「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸(2016年比)」「循環器病の年齢調整死亡率の減少(2018年比)」とされている。県計画の改訂は2年後であることから、県計画では「健康寿命の延伸(2016年比)」「循環器病の年齢調整死亡率の減少(2018年比)」を全体目標といたしたい。
- ・また、県医療計画での数値目標（関連部分を抜粋）を、全体目標を補完するサブ目標といたしたい。

全体目標

循環器病対策推進基本計画

健康寿命の延伸（2016年比）

循環器病の年齢調整死亡率の減少(2018年比)

サブ目標

県医療計画（年齢調整死亡率減少は上記と重複のため割愛）

【脳卒中対策】

特定健康診査受診率・特定保健指導実施率

受入困難事例の割合
（現場滞在時間が30分以上および4回以上
医療機関に要請を行った割合）

脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓
溶解療法を24時間実施可能とする圏域

他の医療機関等と連携のための協議を行う病院数

【心筋梗塞等の心血管疾患対策】

特定健康診査受診率・特定保健指導実施率

受入困難事例の割合
（現場滞在時間が30分以上および4回以上
医療機関に要請を行った割合）

心血管疾患リハビリテーションの実施病院に
おける心臓リハビリテーション指導士の配置率

次にご説明する「ロジックモデル」については、
2年後の改訂時での反映を検討することとしたい。

都道府県循環器病対策推進計画策定指針（R2.10.29 厚労省 課長通知）

＜都道府県計画の策定と見直し - 課題解決に向けた施策の立案及び目標の設定＞

抽出された課題を解決するために、具体的な方法を論理的に検討し、できる限り実効性のある施策を盛り込むとともに、各々の施策と解決すべき課題との連関を示すことが重要である。 その際には、ロジックモデルなどのツールの活用も検討する。

ロジックモデルとは

「原因と因果関係の論理構造図」をいいます。
具体的なイメージは以下のとおり。

